

商学部における特色ある学部教育の補助
「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」 報告書

テーマ	： 税理士の仕事と英語				
科目名	： 英語 (a) III (REG)				
担当教員	： 庭山 雄吉				
実施日	2025年7月1日(火)	時限	3	時限目 実施教室	5406 教室

実施趣旨 (目的)

講師は中央大学の卒業生であり、税理士事務所を開業し、税理士として日々、業務に専念している。授業では税理士の具体的な仕事内容を紹介すると同時に、仕事のうえでの英語とのかかわりや業務のうえで必要な英語力について講義する。同時に、将来、税理士や公認会計士を目指す学生に対して、具体的かつ実践的な仕事内容を示すことで学生のモチベーションを高めることも講義の目的とする。

実施結果

講師は青森市で税理士事務所を開業し、さまざまな業務を行っている。クライアントは、地元の建築設計事務所、旅行代理店など多岐にわたる。講師は、はじめに、英語にかんしてUSCPA (米国公認会計士) を紹介し、キャリアアップに有利であることを説明した。クライアントの中にはホテル経営者もあり、講師が実際に英語を使って業務を行うことも増えたという。さらに、昨今のインバウンドの影響で、外国籍の依頼者からの業務依頼も増えた。続いて税理士の仕事について、他の士業を説明しつつ税理士の仕事の魅力が語られた。税理士は、数ある士業の中でも気軽に相談できる何でも屋であるという言葉が印象に残った。続いて、税理士試験合格のためのプロセスや勉強法について説明がなされた。税理士を目指す学生達へのアドバイスとしては、はじめに3年から5年の目標を明確にたてること。周りに流されることなく自分自身としっかりと向き合うことが大切であると力説した。今回の講演会では、第一線で活躍する現役の税理士の貴重な話しを聞くことができた。講演終了後は、学生達からさまざまな質問があり、非常に有益であったと同時に有意義な講演会であった。